



2022年7月14日

各位

会社名 GFA株式会社

代表者名 代表取締役 片田 朋希

(スタンダード市場 コード番号：8783)

問合せ先 執行役員最高財務責任者 津田 由行
(TEL 03-6432-9140)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、不動産再販事業で取得を予定していた物件の取得をとりやめることを決定し、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）において下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社における不動産再販事業では、入札により取得した物件をリフォームし、その物件に付加価値を見出し、お客様に提供しております。

この度、取得を予定していた物件(以下、「当該物件」という。)につきましても、従来と同様に取得及び再販を予定しておりました。

当該物件については、昨今のリフォーム資材の高騰に鑑み、入札当初より月額賃料の引き上げを行った上で再販することを想定しておりましたが、円安による市況への影響により想定以上に資材等の高騰が起きたことから、当初想定通りの賃料の引き上げでは不十分となり、大幅な賃料の引き上げが必要な状況となりました。

しかしながら、当該物件においては、当該物件のエリアの坪単価の相場に対して、想定する大幅な賃料の引き上げを行うと相場の最高値もしくはそれ以上に相当することから、売却の長期化及び難航が予想されるため、大幅な価格転嫁は難しいと判断いたしました。

また、当社は「2022年6月30日付セブンスター株式会社の株式取得についてのお知らせ」にて開示のとおり、当社の不動産事業の事業環境は変化しております。

検討物件の条件に合わせて、不動産再販、不動産特定共同事業、収益物件取得など適切な事業の対象物件と仕分けし、それぞれの物件ごとに契約主体を決定する方針を関係各社と協議を進めております。

価格転嫁が難しいと判断している現状では、取得し価格転嫁した場合に、再販売が長期化し資金の流動性が低下するリスクがあると認識しております。

以上のことから、社内協議の結果、当該物件の取得をとりやめることといたしました。

それに伴い、支払済の入札保証金を放棄することを決定し、当社グループの連結業績及び単体業績において、特別損失15百万円を計上いたします。

なお、当該物件の詳細につきましては、当社が取得前の段階であるため公表は控えさせていただきます。

2. 業績に与える影響

当社及び当社グループの連結業績及び単体業績への影響につきましては現在精査中です。今後、業績予想の修正が必要な場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上